

# 地球ひろば

ともに つくる ぼくらの未来

協力: JICA (ジャイカ)  
https://www.jica.go.jp/hiroba/

## カンボジア②



- 国名 カンボジア王国
- 面積 18万1000平方キロメートル (日本の約半分)
- 人口 約1576万人 (2016年世界銀行)
- 民族 約90%がカンボジア (クメール) 人
- 言語 カンボジア (クメール) 語
- 宗教 仏教 (一部少数民族はイスラム教)
- 時差 2時間 (日本が進んでいる)
- 有名な場所 アンコールワット (世界遺産)

# 女性の活躍が発展のカギ

## 20年にわたる内戦

20年以上続いたカンボジアの内戦終結後、最も早く始まったJICA事業の一つが1996年からのジェンダー(性別による差)の平等と女性の自立に向けた協力でした。内戦で男性が極端に少なくなり、残された女性の地位向上や経済的自立が国全体の復興のために急務と考えられたのです。



ひな鳥の健康状態をチェックする。研修には男女関係なく参加できます。

## 背景に伝統的な考え方

カンボジアには「男性は金、女性は白い布」ということわざがあります。女性は「一度汚れると元の純白には戻れない」「男性のように損なわれない価値がある存在ではない」というたとえで「もろく弱い」というイメージにもつながっています。今も社会に残るこうした伝統的な考え方は、家族の誰に多くのお金を費やすかということにはっきりと表れます。例えば、誰を学校に行かせるかを考える時、



鶏に病気を予防するワクチン注射をします。ワクチンをつづけるのは、他の参加者は興味津々

まずは男子であって女子ではないのです。

そこでJICAは、カンボジアの役所(女性省など)と連携して、国民の多くが住む農村部で女性の経済的自立を目指す活動を試験的に実施してきました。その活動例として、養鶏の研修があります。

## 養鶏で見直すお互いの役割

研修では鶏小屋の作り方や餌のやり方、病気予防のためのワクチンの打ち方といった養鶏の技術だけでなく、鶏をいつ売れば高い値段で売れるのかといった商売のための知識に加えて、ジェンダーについての知識も得る機会としたのです。養鶏のためにともに働くことでお互いの役割を見直し、補い合う関係に気付いた夫婦。鶏を泥棒から守るために夫の夜の飲酒が減り、そのために家庭内暴力も減った夫婦。教えを請いに来た隣村の男性たちに対応する妻を誇らしく思い、妻の発言や活動に理解を示すようになった夫。男女は



## JICAガバナンス分野の専門家 林英一郎さん

政府開発援助(ODA)機関、コンサルタント、非政府組織(NGO)での勤務を経て、現在JICAカンボジア事務所などで国などが機能すること(ガバナンス)に関する企画調査員として勤務しています。1996年に初めて海外に赴任しましたが、その赴任先は現在と同じカンボジアでした。その翌年に経験した首都プノンペンの軍事衝突がきっかけとなり、国際協力に従事しようと改めて決意しました。その後、カンボジア勤務は複数回となり、勤務期間の合計は今年で12年目を迎えます。1935年にプノンペンで誕生した、三輪自転車タクシーのシクロが大好きです。前方の座席にお客や荷物をのせて運びます。



鶏に餌をやります。生育にあわせて餌を変えます。

それぞれ異なるからこそ、ともに尊重し協力し合うことが大切であると研修で気付きます。同時に、これは養鶏だけに限られた話ではなく、家事でも子どもの世話であっても変わらないことも伝えていきます。

この養鶏の例を基に、女性の経済的自立を支援するための政策を、カンボジアの国自身で続けていくことが期待されています。

## はじめよう SDGs

しらべてみよう 考えてみよう



Q1 身の回りに性別によって役割が決まっていることがあるかな。どんな理由かな。

Q2 あなたの家では、食事の支度や掃除などの「家の仕事」を誰がどのくらいしている?

世界には「女性だから」という理由で教育や就職の機会が限られることがまだ

5 ジェンダー平等を実現しよう

## あたり前を見直す

まだあるのが現状です。性別には、体のつくりでいう「男女」があります。一方「男らしい」「女らしい」というように、社会や生活の中であらわれた役割としての「男女」もあります。こちらをジェンダーと言います。

SDGsゴール5が目指すのは、ジェンダーの平等です。すべての女性や女の子も、男性と同じように機会が与えられ、能力を発揮できる社会です。育児・介護・家事など、家庭での仕事を改めて評価することも大切です。私たち一人一人の中にある「あたり前」を見直すことがジェンダー平等の第一歩になります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals)  
2015年に国連の場で加盟国が決めた30年までの世界の目標です。

